

景気動向指数
平成 22 年 5 月分（速報）の概要

5月のC I（速報値・平成17年=100）は、先行指数：98.7、一致指数：101.2、遅行指数：83.6となった。（注）

先行指数は、前月と比較して3.0ポイント下降し、2ヶ月連続の下降となった。3ヶ月後方移動平均は0.20ポイント上昇し、14ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は1.40ポイント上昇し、11ヶ月連続の上昇となった。

一致指数は、前月と比較して0.1ポイント下降し、14ヶ月振りの下降となった。3ヶ月後方移動平均は0.60ポイント上昇し、13ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は1.20ポイント上昇し、10ヶ月連続の上昇となった。

遅行指数は、前月と比較して0.7ポイント上昇し、2ヶ月振りの上昇となった。3ヶ月後方移動平均は0.13ポイント下降し、2ヶ月連続の下降、7ヶ月後方移動平均は0.32ポイント上昇し、5ヶ月連続の上昇となった。

一致指数の基調判断

景気動向指数（C I一致指数）は、改善を示している。

一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度は以下の通り。

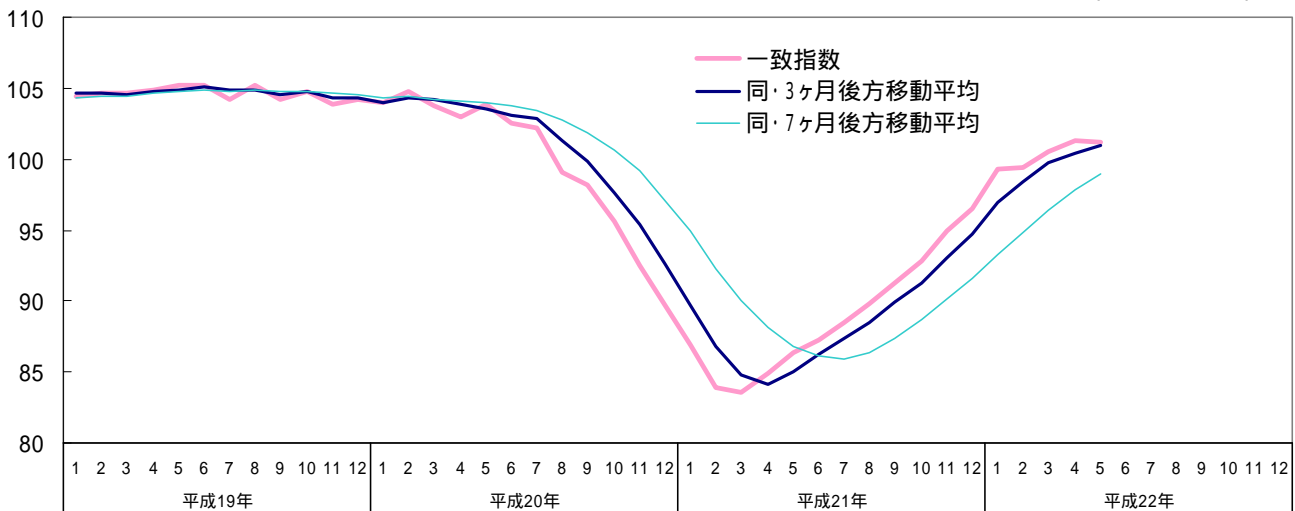
寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C11：有効求人倍率(除学卒)	0.28	C6：投資財出荷指数(除輸送機械)	-0.18
C5：所定外労働時間指数(製造業)	0.08	C7：商業販売額(小売業)(前年同月比)	-0.18
C10：中小企業売上高(製造業)	0.05	C8：商業販売額(卸売業)(前年同月比)	-0.15
C2：鉱工業生産財出荷指数	0.02	C1：生産指数(鉱工業)	-0.02
		C3：大口電力使用量	-0.02
C4：稼働率指数(製造業)	0.00	C9：営業利益(全産業)	-0.00

「C4 稼働率指数」と「C9 営業利益」は現時点では未公表であるため、トレンド成分を通じた寄与のみとなる。

なお、各個別系列のウェイトは均等である。

一致指数の推移

（平成17年=100）



（注）未発表の系列があるため、現時点で得られる値のみで求めた。